



気を付けて！わんちゃん・ねこちゃんの熱中症！ ～夏の健康トラブルを防ぐために～

暑い季節がやってきました。私たち人間よりも動物たちは暑さに弱いです。特にわんちゃんやねこちゃんは汗をかくことがほとんどできないため、熱中症になりやすいです。重症になると命に関わる事もあるため、しっかり対策を取ってあげましょう。

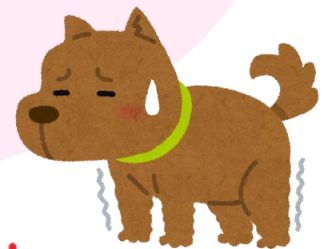


熱中症ってどんな症状？

- ・元気がなくなる ぐったりしている
- ・ハアハアと激しい呼吸(パンティング)をする
- ・よだれが多くなる
- ・体温が高くなる

悪化すると…

- ・嘔吐や下痢をする
- ・けいれんを起こす ふらつく
- ・意識が無くなる



熱中症になりやすいのは

- ・日中の暑い時間のお散歩やお出かけ
- ・エアコンの効いていない室内や車内に放置されたとき
- ・若齢・高齢・肥満・心臓や呼吸器の病気がある子
- ・短頭種(フレンチブルドッグ、パグ、シーズーなど)



外気温
25℃以上は要注意！

自宅で出来る予防法

- ・直射日光を避け、風通しを良くし
室内は25～28度を目安にエアコンなどで
温度管理をしましょう
- ・お水は新鮮なものを複数箇所置きいつでも
飲めるようにしてください
- ・お散歩はアスファルトが熱くない早朝か日が沈んでから
行くようにしましょう



もしも熱中症になってしまったら

まずは涼しい場所に移動し、体を冷やします

- ・濡らしたタオルで体を包んだり、扇風機で風を当ててあげましょう
- ・保冷材などをタオルで巻き首や脇の下、太ももの付け根など太い血管が
走っている箇所にあてて冷却します
- ・水を欲しがり、飲める場合は少量ずつ飲ませます

※無理に与えると誤嚥のリスクがあるため注意が必要です

ただし応急処置はあくまでも、一時的な対応になります。
熱中症は命の危険が及ぶ緊急疾患です。
少しでも異変を感じたら、動物病院にお電話のうえご来院ください。



まとめ

熱中症は予防が何より大切です。普段の生活で気になることがあれば、いつでもご相談ください。

年々暑くなっていて、私たち人間にとっても辛い季節になりますが、わんちゃん・ねこちゃんはそれ以上に暑さを感じます。

体調が崩れる前に早めの対策をしっかりと行い、一緒に元気に夏を乗り越えましょう！

